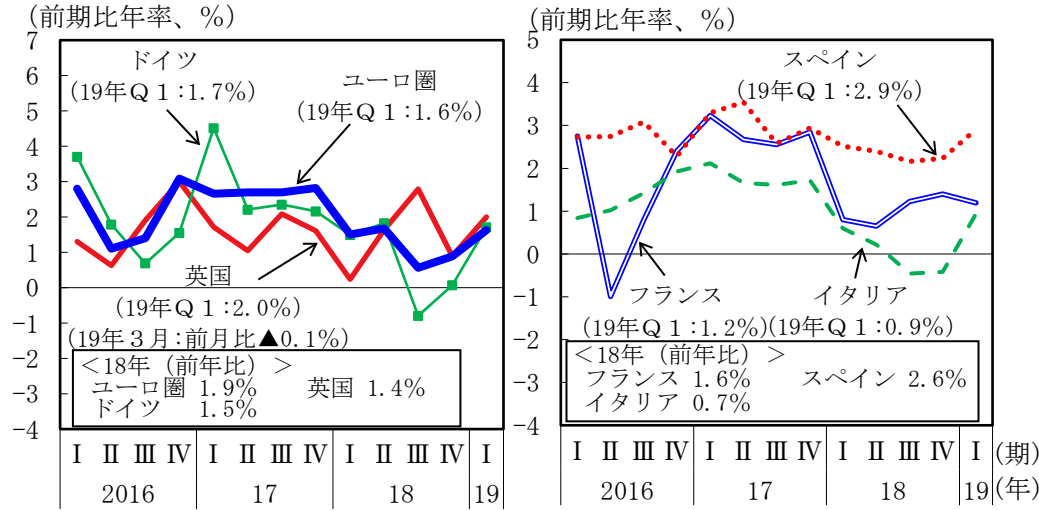


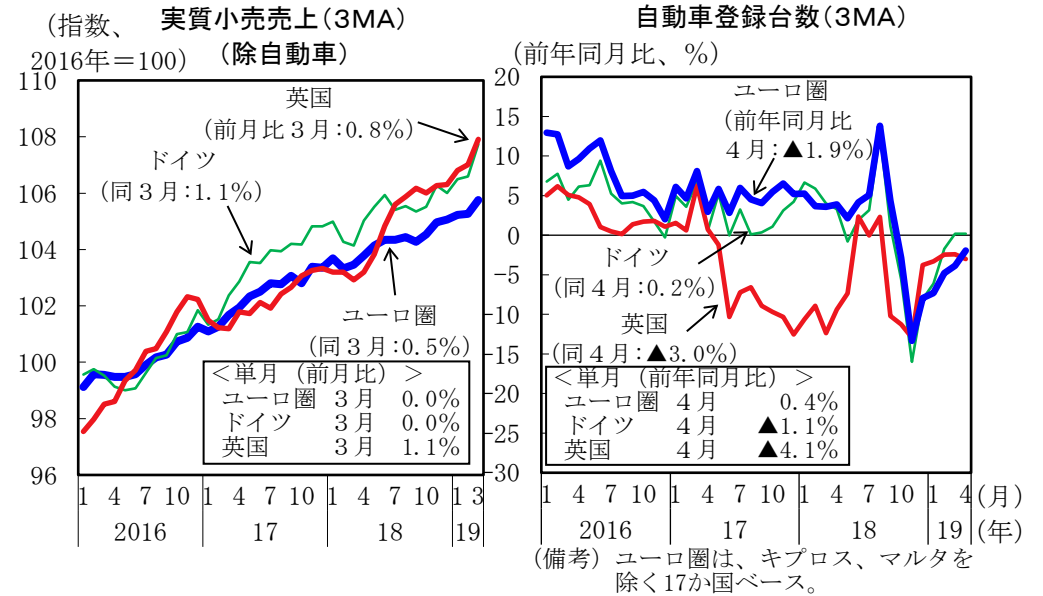
3. ヨーロッパ地域

○ヨーロッパ地域については、ユーロ圏では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。
 ドイツでは、景気は一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる。
 英国では、景気は弱い回復となっている。

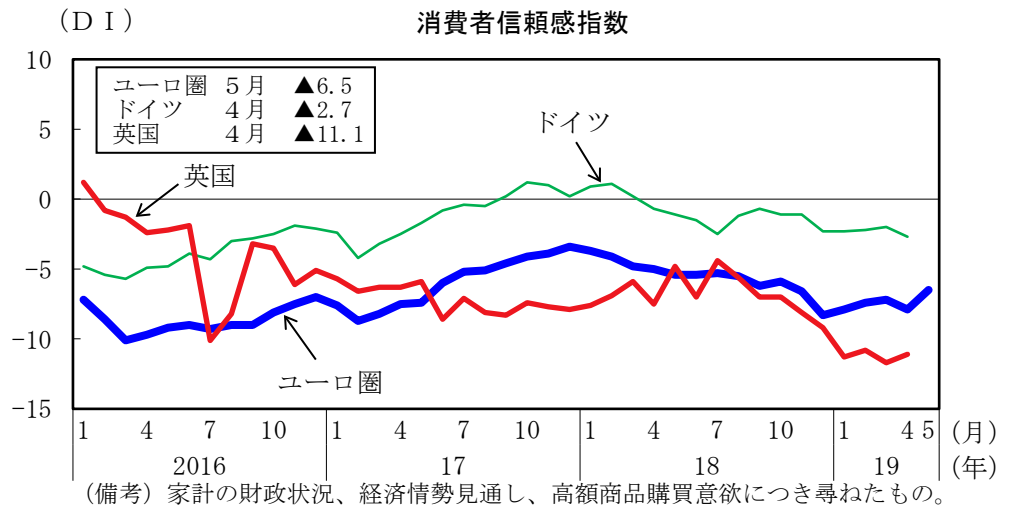
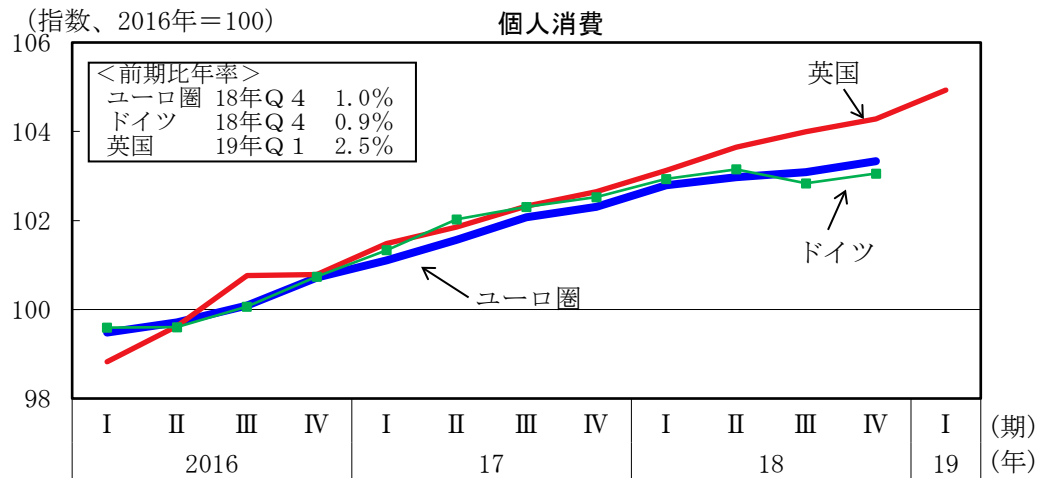
①GDP ユーロ圏：2019年1-3月期は前期比年率1.6%成長
 英国：2019年1-3月期は前期比年率2.0%成長



②個人消費



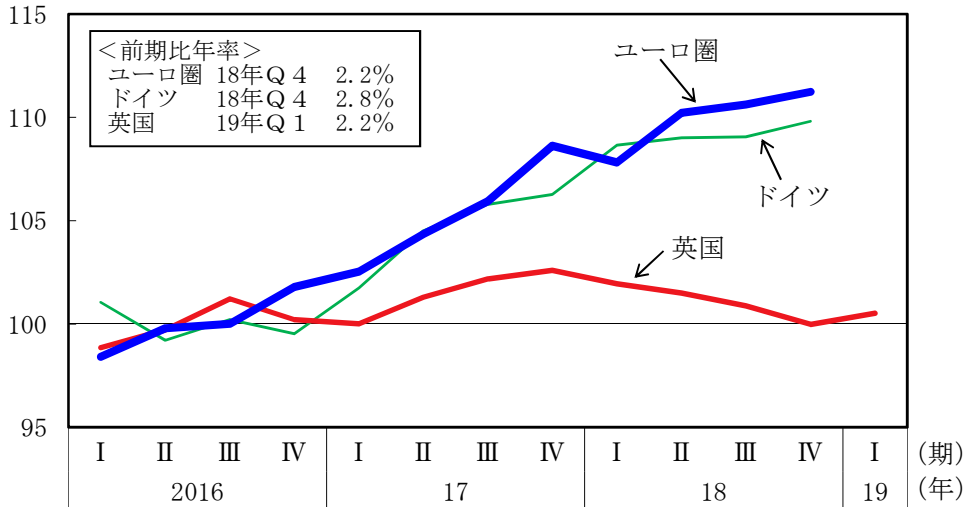
②個人消費 ユーロ圏：緩やかながら増加
 英国：EU離脱を控えた駆け込み需要もあり、このところ緩やかに増加



③設備投資 ユーロ圏：機械設備投資は緩やかに増加
 英 国：設備投資は弱い動き

(指数、2016年=100)

設備投資

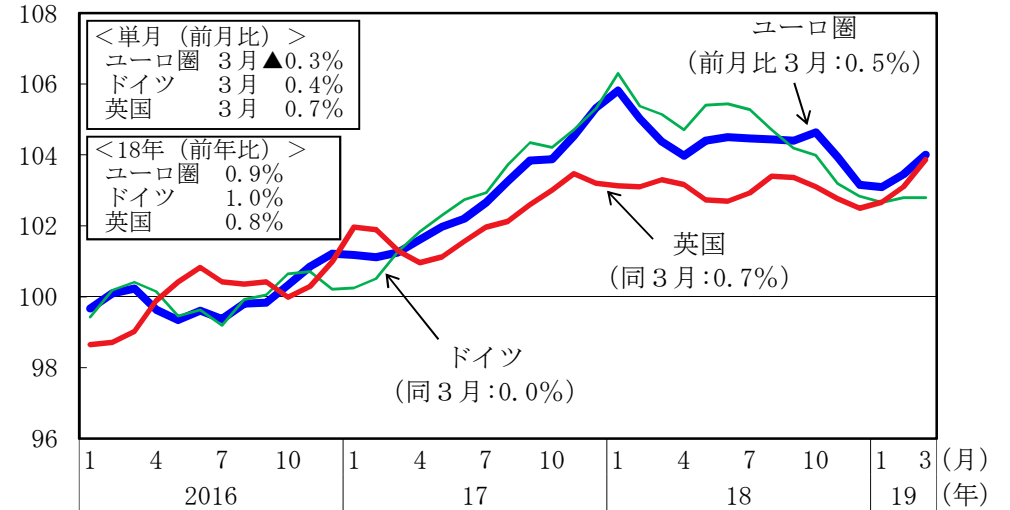


(備考) 1. ユーロ圏及びドイツは公的部門を含む機械設備投資。
 2. 英国は民間の設備投資(住宅は含まない)。

⑤生産 ユーロ圏：生産は弱い動き
 英 国：EU離脱を控えた前倒し生産もあり、このところ持ち直しの動き

(指数、2016年=100)

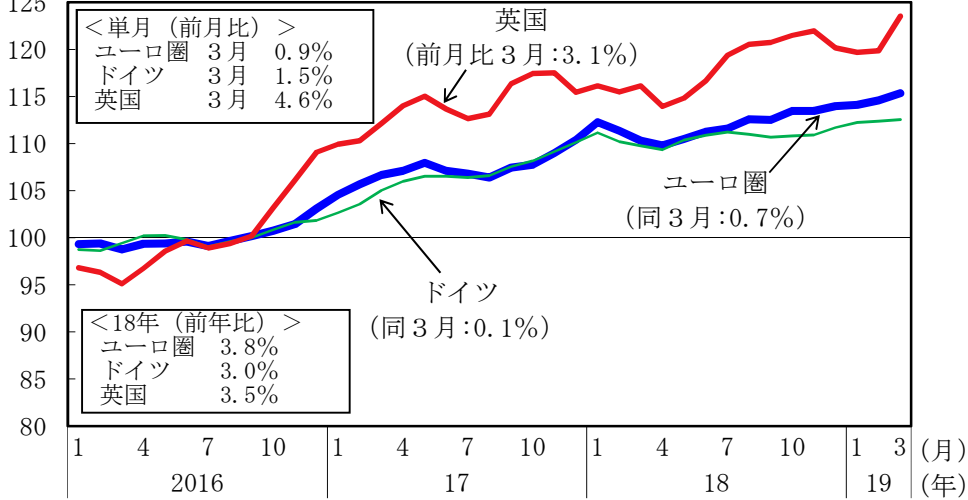
鉱工業生産(3MA)



④輸出 ユーロ圏：輸出はおおむね横ばい
 英 国：輸出はEU離脱を控えた駆け込み需要により、このところ増加

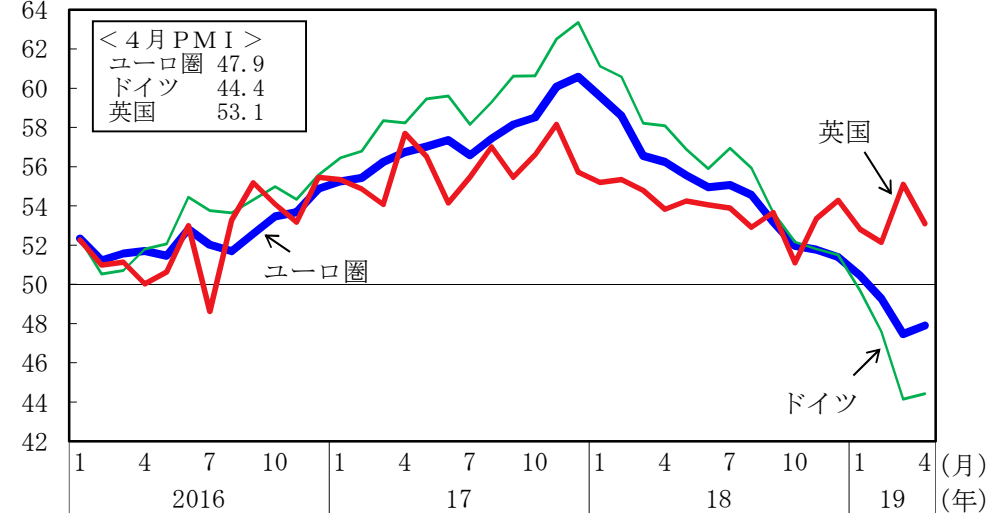
(指数、2016年=100)

輸出額(3MA)



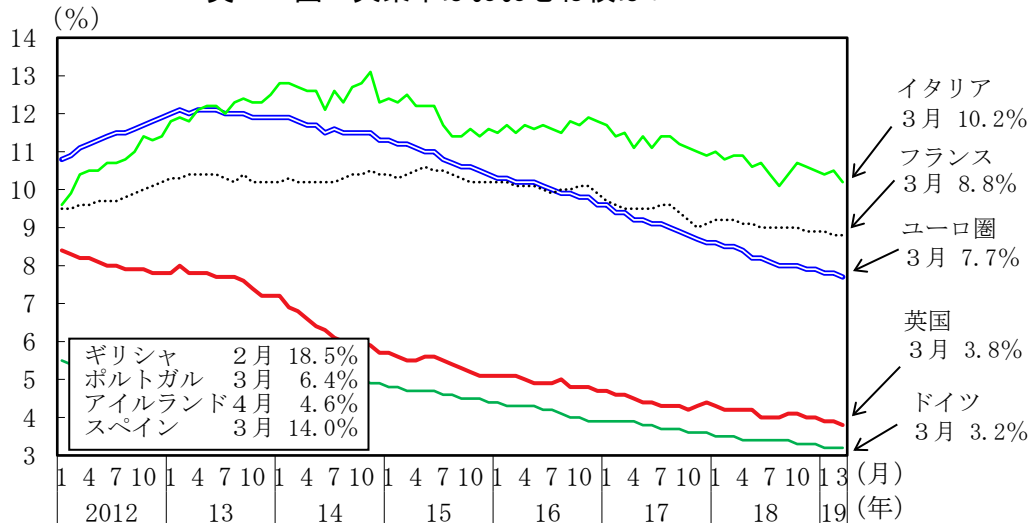
(備考) ユーロ圏は圏外向けのみ。

(DI) 製造業購買担当者指数(PMI)

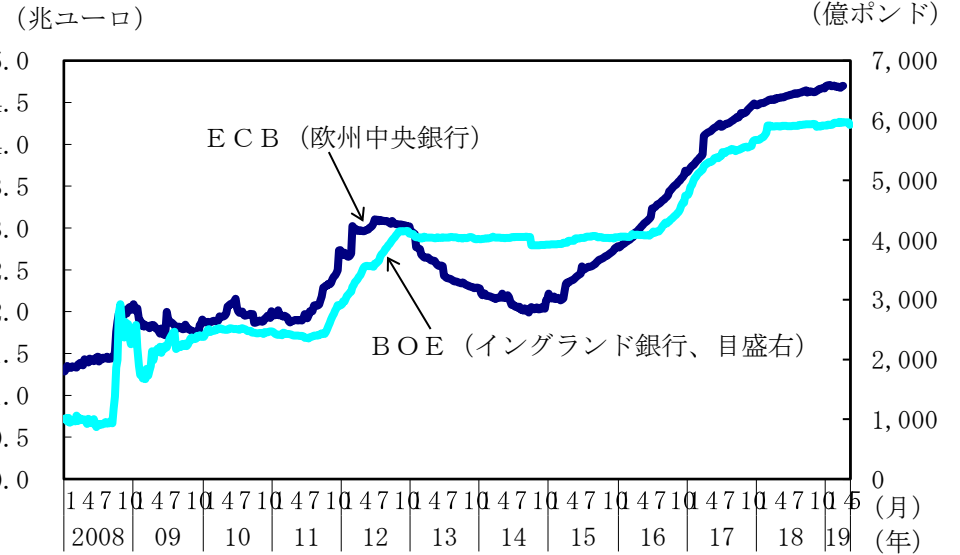


(備考) 1. 新規受注、生産、雇用、サプライヤー納期、原材料在庫について前月と比べた当月の変化を調査し、「改善(1p)、変化なし(0.5p)、悪化(0p)」として指数化。
 2. ユーロ圏は、圏内3,000社の製造業購買担当者を対象にしている。

⑥雇用 ユーロ圏：失業率は低下傾向
英 国：失業率はおおむね横ばい

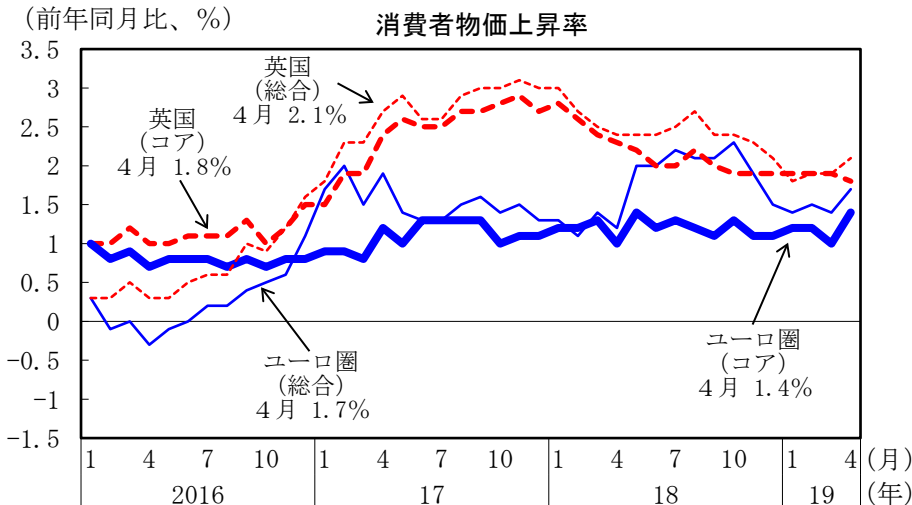


⑧中央銀行のバランスシート



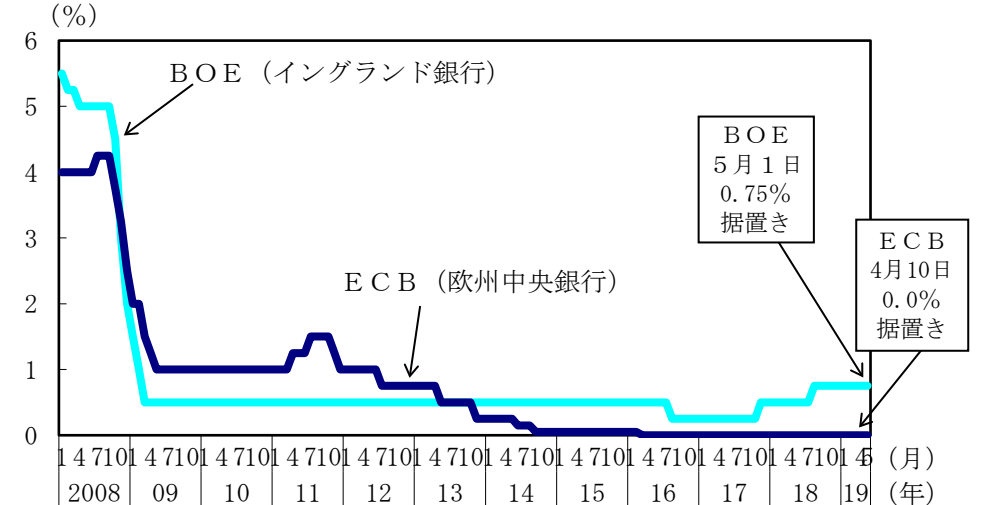
(備考) 2014年10月以降、イングランド銀行 (BOE) が公表統計項目を変更したため、その他資産が含まれない。

⑦物価 ユーロ圏：コア物価上昇率はおおむね横ばい
英 国：コア物価上昇率は安定
消費者物価上昇率



(備考) 1. ECBのインフレ参照値は2%を下回りかつ2%近傍。BOEのインフレ目標は2%。
2. コア消費者物価は、総合からエネルギー、非加工食品を除いたもの。

⑨政策金利 ユーロ圏：欧州中央銀行 (ECB) は据置き
英 国：イングランド銀行 (BOE) は据置き



(備考) ECBでは、2014年6月より中銀預金金利にマイナス金利を適用 (現在▲0.40%)。その他に、スイス、スウェーデン、デンマーク等で中銀預金金利にマイナス金利が適用されている。